

しまなみロード

8月18日(金) ~ 8月21日(月)

IN しまなみ海道(大浜崎キャンプ場、みやくぼ石文化交流館、今治市)

| | 午前 | 午後 | 夜 |
|-----|----------------------------|---------------------|-------------|
| 1日目 | 尾道に向けて出発 | 向島~因島へ出発 キャンプ場到着 | 振り返り |
| 2日目 | しまなみサイクリング(生口島、大三島、伯方島、大島) | | 振り返り |
| 3日目 | 今治市へ出発 | 今治市内散策 | フェリー乗船、振り返り |
| 4日目 | 関西に到着・解散 | | |

一日目： 出発時の天候は大雨に雷と大荒れでしたが、皆の気持ちはとても高く、集合時から自転車にわくわくされていました。尼崎駅にて全体集合したのち、尾道まで電車移動です。何度も乗り換え、長時間乗るので、この間にグループ内で自己紹介や談笑などをたっぷり行いました。朝早かったので、休まれている方もおられました。長い時間かけて尾道駅に到着しました。駅前の広場で昼食を済ませ、レンタサイクルに向かいました。ここで3日間お世話になる自転車を借りました。再び広場に戻ってくると、自転車の基本的走行方法や注意事項などを聞き、サドルの高さ調整や試験走行を行いました。試験に合格したグループからついにしまなみ海道へ出発です。初めの島【向島】へは渡船で渡りました。そこからひたすら青い線に沿って進みます。みんなで走る、一列になって走る、ペースを考えて走るなど初めてばかりでなかなか上手く一丸となって走れません。それでも、皆一生懸命に走っていました。二番目の島【因島】に到着しました。本日のゴールはすぐ近くのキャンプ場です。全員怪我なくゴールすることが出来ました。ゴールしたグループから荷物運びを行いました。荷物運びも終え、ひと段落してから振り返りを行いました。絵日記を作成するのですが、一日の振り返りとそこから翌日どうグループで頑張るか決める【未来日記】を作成しました。シャワーと夕食を済ませ、就寝しました。



二日目： 朝から元気な声が聞こえてきました。使った寝袋を干し、荷物を片付け、テントを整理し、朝から活発に動きました。そして、ようやく朝食をいただきました。朝食はボリュームいっぱいサンドウィッチです。朝食を済ませ、荷物を車に積み込んだら出発です。サイクリングロードに戻り、ひたすら進みます。本日の目指す島は4つ先の『大島』です。皆のやる気は十分で、昨日とは違い、隊列を組んでふざけることなく進んでおられました。2つ目の島、『生口島』で、サンセットビーチがあったので、気分転換に海遊びを楽しみました。暑い体に冷たい海がとても気持ち良さそうでした。昼食は各グループのタイミングで購入し、食べました。自転車で緊張続きだったので、この時ばかりは息抜きも含み、楽しそうにされていました。自身で食べたいものを選んだので、とても満足そうにされていました。午後からは再び真剣モードに入り、ひたすら進みました。『大三島』、『伯方島』を越え、ついに目的の島は『大島』へと到着しました。しばらく進むと本日のゴールである【宮窪石文化交流館】に到着しました。入所後は入浴と振り返りを行いました。昨日の振り返りを見直して、そこから考え、明日につなげる内容を絵日記に描きました。夕食の片付け時に疲れからか眠そうな顔がチラホラ見られました。部屋戻り、布団を敷くとすぐに眠ってしまいました。



三日目： 朝は起床時間ギリギリまで非常に静かでした。疲れがかなり溜まっているのだらうと思います。起床時間となると元気に布団から飛び出し、身支度を始めました。朝食を済ませ、お小遣いをもらい、最後の道のりへ出発です。2日目にかかなり進んだため、少し余裕を持って進むことが出来ました。四国へ渡る際に通る橋【来島海峡大橋】の大きさに圧倒され、興奮されながら進みました。大橋を渡り、ついに今治市街地へ入りました。急に車の数が増えたので、今まで以上に気を引き締めて進みました。サイクリングロードの終着点である今治駅が見えてきました。ここから、



【今治城】を探し、ついにゴールすることが出来ました。今治城にたどり着いた後は、グループごとに今治市内を探索に向かいました。自転車でいきたい場所を探し、向かい、お土産を購入しました。夕飯は食べたいお店へ向かい、食べました。ラーメンやうどん、お寿司を食べているグループもありました。お世話になった自転車を返却し、バスに乗って東予港へ向かいました。ここから、フェリーに乗り、大阪南港へ向かいます。乗船し部屋に入ると眠気が一気にきたのでしょうか、眠たそうにされているメンバーがおられました。最後の力を振り絞って入浴と振り返りをさせていただきました。振り返りでは今まで以上に話し合いに熱が入っていたように感じます。就寝時は、まだ部屋は明るかったのですが、それでも疲れからか誰一人起きることなく眠られています。



四日目： フェリーは朝早く到着しましたが、誰一人気付くことなく、ぐっすりとおやすみされていました。起床後、着替え、身支度を整えたら、昨夜完成していなかった振り返りを行いました。朝食は豪華に船内バイキングです。今まで以上に豪華な料理に沢山、美味しくいただきました。下船をし、ターミナル近くの公園にて最後の振り返りです。内容は『このキャンプを経て何を感じ、何を学び、それをどうこれから活かしていくか』について、話し合っていました。4回目の話し合いなので、皆慣れた感じで、和気あいあいの様子でした。振り返り後は、尼崎まで地下鉄、JRを乗り継いで向かいました。今までに比べ緊張が緩んでいたため、最後まで引き締めて頑張っていました。尼崎に到着すると、お迎えの親御様を前に今までの頑張りや緊張から解放され、とても疲れた様子でした。長い旅、本当にお疲れ様でした。

<キャンプ総括>

しまなみロードにおいて、メンバーに一番課題となってくるのが、『年齢差』です。年齢が違えば自転車のサイズが異なり、体力にも大きく差が生じてきます。その課題をどう乗り越えていくかがこのキャンプの“ねらい”です。キャンプに参加されるメンバーは優しい方ばかりなので、遅いから、わがまま言ったからといって責めることはされません。しかし、日が経ちメンバー同士関係性も構築され、体力もなくなってくると心に余裕がなくなり、「つい」相手に心無い事を言ってしまい、問題が起こるグループがチラホラ見受けられました。私はそれでいいと考えています。相手を思い、気遣うことは大切です。しかし、そのままだといつまで経っても本音で言えず、気遣う側はいつまでも気遣わなければいけないし、気遣わせる側はいつまで経ってもその事に気付けません。揉めて、関係性が崩れても、そこからもう一度築いていけばより強固な関係になります。3泊4日と短い期間の中で、この一連の流れを体験できることで自身の学びが向上すると思います。『揉める』事の大切さをこれからも皆さんに上手に伝えていこうと思います。（竹中 哲郎）